

## 動力器材とは…？

航空機の整備を行うには、機器を作動させるための電力や、電子機器を冷やすための冷却装置、動翼や脚を作動させるための油圧など、供給源となる電源車やグラウンドクレーン、油圧テストスタンドなどの器材が必要です。

また、弾薬を搭載するためのドーリーやリフトトラック、航空機の高い場所を点検するための高所作業車等、多種多様の器材があり、これらを動力器材と呼びます。



## 動力器材のお仕事は何をするの？



- ・ 航空機を整備するために使用する動力器材の点検、整備及び修理  
(航空機が安全に飛行するためには、その航空機自体がきちんと点検、整備されていなければなりません。  
その整備を行うのに欠かせない動力器材を整備するのが動力器材整備のお仕事になります。)

動力器材が適切に維持管理されていなければ、航空機整備が出来なくなるため、  
航空機を運用するために無くてはならない仕事です。



## 動力器材の隊員に聞いてみました！

動力器材整備員

### 動力器材のやりがいはなんですか？



動力器材整備のやりがいは、私たちが整備した動力器材を使用して、航空機の整備が円滑に行われている時です。

特に、整備を終えた動力器材を部隊等に返却した時に感謝されたときは、やりがいを感じます。



ベテラン  
動力器材整備員

### 動力器材のお仕事で大変なことはなんですか？



多種多様な器材の整備を行っているので、学ぶことが多く大変です。

自動車では走行部分、発電機では電気系統、他にも油圧の勉強や電子機器の冷却機材についても勉強しないといけません。

学ぶことは多いですが、知識や技能が身に付きます。

